
プレスリリース

ロンドン、2026年5月18日午前6時

2026年のプラチナ市場は4年連続で供給不足予想。供給は需要を9トン下回る見込み

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Trevor Raymond (トレヴァー・レイモンド) CEO によるコメント：

「プラチナのファンダメンタルズは、依然として投資家にとって魅力的です。市場は供給不足の状態が続いており、中東における地政学的な逆風にもかかわらず、プラチナの需要は十分に安定しています。導入予定の排出ガス規制は自動車需要を後押しする一方、地域的なエネルギー安全保障への注目の再燃により、水素技術への関心が再び高まっており、これは長期的な需要加速要因となるでしょう。また、プラチナは、光通信からデータストレージに至るまで、AI インフラの展開を支える多くの技術分野において、既に重要な役割を果たしています。」

- 2026年の供給不足予想は9トンに拡大
- 地上在庫は一段と減少しており、2026年末時点での在庫は減少し、世界需要の3か月分を割り込む見込み
- 地金・コイン投資需要は勢いを維持、好調な第1四半期と全地域での成長に牽引され、2026年通年では27%増の22トンに達する見込み
- プラチナの総需要は主に、昨年の大規模な取引所在庫およびETFへの資金流入が今年は見込めないため、前年比9%減の239トンに減少する見込み
- ガラス生産能力拡大の再開を受けて産業需要が9%増の70トンとなり、自動車および宝飾品需要の減少（それぞれ-2%および-12%）を一部相殺
- プラチナ総供給量は2%増の見込み。価格上昇を背景にリサイクルが9%増加する一方、鉱山供給は横ばいと予測

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC®) は本日、2026年第1四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2026年通年予想を修正しました。

プラチナ市場は、2026年第1四半期に8トンの余剰を記録しました。これは、南アフリカにおける季節外れの好調な生産を背景に総供給量が前年比18%（8トン）増の54トンとなったこと、および総需要が前年比31%（20トン）減の46トンとなったことを反映しています。需要減は、上場投資信託（ETF）と取引所在庫からの流出額が合計12トンに達したことが最大の要因です。

一方、2026年第1四半期のトレンドのいくつかは年内に反転が予想されており、プラチナ市場は2026年通年で9トン、4年連続の不足が予想されます（前回予測から若干（+2トン）増加）。2026年の総需要は、前年比9%（23トン）減の239トンと予想されています。これは主に、取引所在庫とETF投資の両方で反転が見られ、昨年の大規模な流入とは対照的に、それぞれ3トンの純流出が見込まれるためです。リサイクルの増加を背景に、総供給量は前年比2%（4トン）増の229トンとなる見込みです。

地上在庫は、2026 年末までに 54 トンまで減少し、世界需要の 3 か月分を割り込む見通しです。

2026 年の鉱山供給量はほぼ横ばい—プラチナ価格上昇の割に、リサイクルによる供給回復は予想よりも低調

2026 年第 1 四半期の鉱山供給量は、前年同期比 22% (7 トン) 増の 41 トンでした。これは、前年同期が異例の低水準で供給に混乱が生じたことに加え、メンテナンス日程の変更が 2026 年第 1 四半期の数値を押し上げたことに起因します。リサイクル供給は前年同期比 7% (1 トン) 増の 13 トンとなりましたが、予想を下回りました。価格上昇により使用済み触媒の回収量は増加しているものの、各触媒から回収される白金族金属の量 (ローディング量) は前年よりも少なく、回収量増加による恩恵の一部を相殺しています。

2026 年通年の鉱山供給量は、南アフリカにおける若干の増加が他の地域における減少によって相殺されるため、前年同期比ではほぼ横ばいの 173 トンになると予想されます。リサイクル供給は 9% (5 トン) 増の 57 トンに増加すると予想されますが、下振れリスクも存在します。PGM 価格の大幅な上昇により、リサイクル業者が引き続き運転資金の制約に直面していることや、前述のとおり、触媒あたりのローディング量と回収率の低下傾向が続いているためです。

自動車需要は、ハイブリッド化と大型車のトレンドに支えられ堅調に推移

2026 年第 1 四半期の自動車用プラチナ需要は、前年同期比 6% (2 トン) 減の 22 トンとなりました。2026 年通年では、現在の中東危機に関連した世界的なマクロ経済の不確実性やオイルショックへの懸念という逆風があるものの、需要の減少は緩やかになり、前年比 2% (2 トン) 減の 92 トンになると予想されています。

内燃機関 (ICE) のみを搭載した小型車の生産が 8%減少する見込みですが、これはハイブリッド車の 12%増加によってほぼ相殺される見通しです。さらに、米国およびインドの ICE 搭載大型車セグメントの好調も追加支援要因です。

貴金属価格の高騰と生活費の上昇が宝飾品需要に影響

2026 年第 1 四半期の宝飾品需要は前年同期比 13% (3 トン) 減の 14 トンとなりました。大半の地域で販売量が低迷したことが、欧州高級品市場の一部における好調を打ち消す結果となっています。中国では、当四半期は特に低迷し、プラチナ宝飾品需要は前年同期比で 42%減少しました。この減少の背景には、プラチナ価格の高騰、消費者心理の悪化、宝飾品サプライチェーン全体における在庫削減の継続、そして大型・準投資用宝飾品から投資用地金への移行など、複数の要因が存在します。2025 年 11 月 1 日から上海黄金交易所経由で引き渡されるプラチナに対する 13%の付加価値税 (VAT) 還付が廃止されたことも、需要に影響を及ぼしました。

2026 年通年の世界のプラチナ宝飾品需要は、プラチナ価格の上昇と生活費の上昇圧力が重しとなり、前年同期比 12% (8 トン) 減の 61 トンになると予想されています。欧州における需要は過去最高を更新すると予想され、インドでも成長への回帰 (+5%) が見込まれますが、それでも米国 (-7%)、日本 (-5%)、中国 (-43%) における減少を相殺することはできないと思われる。

ガラス需要の循環的な上昇が産業需要の伸びの回復を主導

2026 年第 1 四半期の産業需要は、前年同期比 41% (5 トン) 増の 16 トンとなり、ガラス需要は当四半期に 3 トンに達しました。これは工場閉鎖により、ガラス需要がマイナスとなり、特に低迷した 2025 年第 1 四半期の状況からの回復を反映しています。この増加により、化学部門 (前年同期比 4%減の 4 トン) および石油部門 (同 28%減の 1 トン) の需要減が十分に相殺される形となりました。

2026年通年では、産業需要は、ガラス需要の伸び（83%増の12トン）を中心に、9%（6トン）増の70トンが予想されています。石油（-28%）、および横ばいが見込まれる「その他」の 카테고리を除き、他のすべての部門でも需要の増加が見込まれています。前回予測以降、中東紛争に起因する同部門への混乱という下振れリスクを反映し、石油需要の通年予測は1トン下方修正され、4トンとなっています（2025年通年は6トン）。

地金・コインの力強い需要成長は継続する見込み

2026年第1四半期は7トンが純流出し、取引所在庫およびETFからの資金流出（合計12トン）と、地金・コインの堅調な需要（5トン）との間に大きな乖離が見られました。

2026年の総投資需要は、前年比54%減の16トンになると予想されています。関税に関連する懸念が後退し、投資家が（前年同期比で）上昇したプラチナ価格の利益確定に動くと思われるため、取引所在庫とETFからはそれぞれ3トンの純流出が見込まれます。これらの流出は比較的小規模ではあるものの、2025年に見られた流入からの対比で、かなりの変動を示しています。対照的に、地金・コイン投資は27%（5トン）急増し、6年ぶりの高水準となる22トンとなる見込みです。多くの地域で、プラチナの良好なファンダメンタルズが、バリュー投資家の関心を集めています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの **Trevor Raymond**（トレヴァー・レイモンド）CEO はまた、次のように述べています。

「2025年のプラチナ価格のパフォーマンスと2026年の堅調な価格水準によって、プラチナの投資ポテンシャルに対して世界的に注目度が高まっています。2025年のETF需要や、今年予想される地金・コインの堅調さが示すように、プラチナの貴金属としての特性と、その魅力的な需給ファンダメンタルズを積極的に検討する投資家層が拡大しています。」

プラチナ需給バランス (トン)	2022	2023	2024	2025	2026f	2026年予想		2025年第四			
						2025年成長率 (%)	2025年第四	第4四半期	2025 半期	2025 半期	2026
供給											
製錬高	172	174	180	173	173	-4%	0%	34	50	41	
南アフリカ	122	123	129	123	125	-4%	1%	22	36	31	
ジンバブエ	15	16	16	16	16	1%	-2%	4	4	3	
北米	8	9	8	7	6	-20%	-5%	2	2	2	
ロシア	21	21	21	21	20	0%	-5%	6	6	4	
その他	6	6	6	6	6	3%	-2%	1	2	2	
生産者製品在庫における増減 (-/+)	1	0	0	0	0	-57%	-100%	-1	+1	+0	
鉱山総供給量	173	175	180	173	173	-4%	0%	34	51	41	
リサイクル											
自動車触媒	56	47	48	52	57	9%	9%	12	14	13	
自動車触媒	43	35	36	39	42	7%	10%	9	10	10	
宝飾品	12	10	9	11	12	20%	5%	2	3	3	
工業	2	2	2	3	3	7%	8%	1	1	1	
総供給量	229	222	228	225	229	-1%	2%	46	64	54	
需要											
自動車	86	100	97	94	92	-2%	-2%	24	24	22	
自動車触媒	86	100	97	94	92	-2%	-2%	24	24	22	
ノンロード	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†	†	
宝飾品	58	58	62	69	61	10%	-12%	17	16	14	
工業	71	77	79	64	70	-19%	9%	11	18	16	
化学	21	26	20	18	19	-8%	6%	4	5	4	
石油	6	5	5	6	4	14%	-28%	1	1	1	
石油	3	3	3	3	4	6%	20%	1	1	1	
電気	14	15	22	6	12	-70%	83%	-2	3	3	
ガラス	9	9	10	10	10	4%	4%	2	3	2	
医療	0	1	1	2	2	63%	7%	0.5	0.7	0.6	
水素経済	18	19	19	19	19	0%	0%	5	5	5	
その他											
投資	-16	12	22	35	16	59%	-54%	14	13	(7)	
地金およびコインの増減	8	10	6	12	17	96%	33%	2	4	3	
中国における500g以上の地金	3	4	5	5	6	2%	12%	1	2	1	
ETF保有高の増減	-17	-2	9	6	-3	-38%	N/A	(0)	8	(8)	
取引所在庫の増減	-10	0	2	12	-3	>±300%超	N/A	11	(1)	(4)	
総需要	200	247	260	262	239	1%	-9%	66	71	46	
需給バランス	30	-25	-32	-37	-9	N/A	N/A	(20)	(6)	8	
地上在庫	**158	133	101	64	54	-37%	-15%				

出典：Metals Focus 2022 – 2026f

注記：

1. **2018年12月31日現在の地上在庫 3,650 koz (Metals Focus)
2. † オフロード自動車需要は、自動車触媒需要に含まれる

-以上-

メディア関連のお問い合わせ先：Elephant Communications：
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

Platinum Quarterly について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) が発行する Platinum Quarterly は、世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するために、独立した立場で作成され、無料で提供される業界

初のレポートです。WPIC が委託し、白金族金属市場の権威ある独立機関である **Metals Focus** が実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (WPIC®、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資家の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Valterra Platinum、Implats、Northam Platinum、Sedibelo Platinum、Tharisa、Bravo Mining and Podium Minerals です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください

WPIC ロンドン事務局 : World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所 : World Platinum Investment Council, Unit 1612, Shui On Plaza, No. 333 Middle Huaihai Road, Huangpu District, Shanghai, P.R.China

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、白金族金属市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、特注のコンサルティングを行っています。**Metals Focus** チームは 8 つの法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、**Metals Focus** は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。

詳細については、www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しています。同時に、貴金属としての独自の特質を持つため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 75%~79%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の主要分野は、自動車、工業、宝飾品、投資の 4 つです。

過去 5 年間の自動車触媒からのプラチナ需要は、総需要の 36%から 44%に相当しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 30%を占めています（過去 5 年間の平均）。同期間において、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 27%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-8%から 14%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルおよび **Metals Focus** のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する

る助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。